

平成21年度補正予算が可決

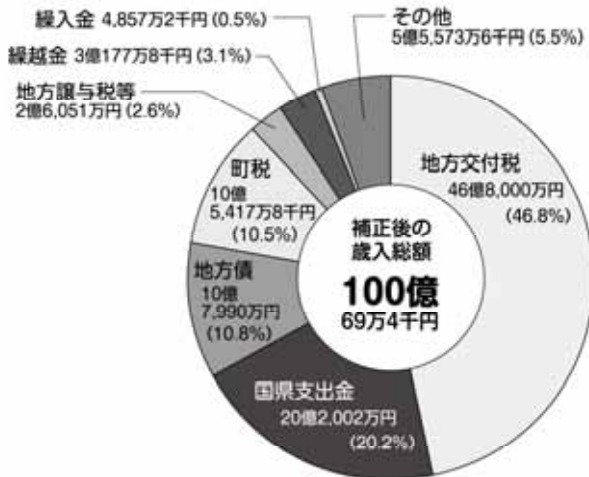
新町長のもと始まった日高川町第2ステージ初となる議会が6月26日より開催され、子どもの医療費助成、国の補正予算をはじめとする平成21年度補正予算が可決されました。補正後の一般会計予算の概要について紹介します。

■補正後の歳入総額（100億69万4千円）

一般会計の歳入は、100億69万4千円となりました。町長選挙を控え当初予算への計上を保留していた新規事業の国県補助金や、国の補正予算に関連した「経済危機対策臨時交付金」、また、平成20年度決算に伴う「繰越金の受け入れ」など8億169万4千円が追加されています。

【用語解説】「歳入」

- 地方交付税…市町村が一定水準の行政サービスを維持できるよう、財力に応じて、国から交付されるお金。所得税、消費税などの国税の一部から地方公共団体に再配分される。
- 国県支出金…特定の事業の財源として、一定の割合で国や県から補助されるお金
- 地方債…道路整備などたくさんのお金が必要な事業を実施するときに借り入れるお金
- 町税…町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税、入湯税など住民のみなさんから納めて頂く税金
- 地方譲与税…国税や県税として徴収され、町に譲与されるお金の、地方道路譲与税などがあります
- 繰越金…前年度の決算上の剰余金で、次年度へ持ち越したお金
- 繰入金…基金を取り崩したお金



■補正後の歳出総額（100億69万4千円）

町長選挙を控え当初予算への計上を保留していた農林業振興施策などの新規事業や、国の補正予算に関連した「経済危機対策臨時交付金事業」、子ども医療費、基金への積立金など8億169万4千円を新たに計上しています。



【用語解説】「歳出（目的別）」

- 公債費…借入金の元金・利子などの支払の費用
- 総務費…行政全般的な事務などの費用
- 民生費…高齢者、児童、障害者等の福祉向上に関する費用
- 土木費…道路、橋、住宅など各種の公共施設の建設、管理の費用
- 衛生費…健康診断などの保健事業、ごみ・し尿処理などの環境衛生の費用
- 農林水産費…農業、林業などの振興のための費用
- 教育費…学校教育、社会教育、スポーツ、文化財保護に関する費用
- 消防費…消防、防災に関する費用
- 商工費…高工業、観光の振興のための費用



【用語解説】「歳出（性質別）」

- 公債費…借入金の元金・利子などの支払の費用
- 普通建設事業費…道路、橋、学校等の建物、など、社会資本整備のための費用
- 人件費…町長等特別職、職員、議員、各種委員などに支払われる報酬、給与、手当など
- 物件費…施設の光熱水費や消耗品費、委託料など
- 補助費等…いろいろな団体への活動助成金や、他市町村と共同で運営する組合への負担金など
- 繰出金…建設費用や事務費などの補助のために一般会計から特別会計へ支出される費用
- 扶助費…社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障害者等を援助するための費用
- 積立金…町が所有する各種基金へ積み立てた経費

■ わかりやすい役場に!! ー日高川町の財政を知ろうー

「財政」は、専門的で、何だかよくわからないと感じている方も少なくないと思います。財政用語はいろいろありますが、よく目にするものについて、解説しましたので参考にしてください(あくまで、少しでもイメージしてもらえよう表現していますのでご了承下さい)

Q. 「予算」、「決算」ってなに?

A. 「予算」は、そのまちの1年間の収入と支出の予定を表わしたものです。財政用語では、収入を「歳入」、支出を「歳出」といいます。「決算」は、1年間の収入と支出が実際にどうなったか、どう使ったかを表したものです。

Q. 「一般会計」ってなに?

A. 福祉、教育、道路整備など住民生活全般に関わる事業を行う、そのまちの中心となる会計です。

Q. 「地方債」、「基金」ってなに?

A. 「地方債」は、いろいろな施設整備のために借りたお金のことです。「基金」は、まちづくりのために貯めたお金のことで、代表的なものに用途の制限のない財政調整基金、借金返済のための減債基金があります。

Q. 「財政力指数」ってなに?

A. 財政力の強さを表す指標で、行政運営に必要なお金を、どれだけ自前(町民税など)で調達できるかを示すものです。高いほど、自前で調達できているということになります。

Q. 「経常収支比率」ってなに?

A. お金の使いみちの自由度を表す指標で、毎年常に必要な費用に対して、毎年常に入ってくるお金でどれだけまかなえているかを示したものです。高いほど、使いみちの自由度が少ないということになります。

Q. 「実質公債費比率」ってなに?

A. 毎年安定して入ってくる収入が、借金返済にどれだけ使われているかを示す指標です。高いほど、借金返済に回すお金が多いということになります。

Q. 日高川町のそれぞれの指標はどうなっている?

A. 平成20年度の普通会計(※)の決算見込みをもとに、代表的なものを見てみると……

(※普通会計=他団体との財政比較などのため、統計上統一的に用いられる会計区分で、一般会計が中心)

「基金残高(人口一人あたり)」 24万4千円 (よく似た人口規模のまちの平均14万7千円)

「地方債残高(人口一人あたり)」 148万5千円 (よく似た人口規模のまちの平均70万3千円)

「財政力指数」 0.24 (よく似た人口規模のまちの平均0.31)

「経常収支比率」 86.8 (よく似た人口規模のまちの平均90.6)

「実質公債費比率」(H18~H20の3年平均) 23.5 (よく似た人口規模のまちの平均16.1)

※見込み数値であり確定数値ではありません

※(よく似た人口規模のまちの平均)は、平成19年度決算数値です

Q. これらの指標の中で、重要なものはどれ?

A. 財政の状況を示す指標は他にもたくさんあり、どれも重要です。ひとつの指標でそのまちの財政状況を把握するのは困難ですが、日高川町の場合よく注目されるのが、県内で一番高い数値を示している「実質公債費比率」です。

Q. 実質公債費比率は、なぜ、高いの?

A. 合併するずっと以前から、それぞれの町村で、道路、簡易水道、下水道など生活基盤の整備のため、多額の地方債を借り入れた結果、返済する額が増え続け、数値が高くなりました。

Q. どの程度まで大丈夫なの? まだまだ上昇するの?

A. 25%を超えると自治体財政健全化法という法律によりいろいろな制約を受けますし、35%を超えると国の管理のもとに再生していくこととなります。日高川町の場合、「23.9%(H17~H19の3年平均)」は今がピークの数字です。単年度で見ると、19年度に24.8%であったのが、20年度では、21.6%となる見込みであり、21年度には、20%をきれるよう努力しています。合併以降、比率を下げるよう計画を立て、その計画に沿って、地方債の借り入れをなるべく抑えたり、今まで借り入れた分を早い目に返済したりしています。

Q. 日高川町の財政はこれからよくなるの?

A. 日高川町となって以来、財政健全化に向けた様々な取り組みを行い、徐々にではありますが、好転しています。現在、国・地方とも大変厳しい財政状況であり、今後の国の経済財政対策や、経済情勢が大きく影響するところですが、財政の健全化に向け努力してまいります。